

福岡市スポーツ振興計画の取り組みについて

1. 計画の概要

本市では、平成 22 年 2 月に策定した「福岡市スポーツ振興計画～スポーツでこころとからだの健康づくり～」に基づき、スポーツ振興を総合的に進めている。

- (1) 5つの目標
- 【目標 1】 スポーツでこころとからだの健康づくり
 - 【目標 2】 スポーツで仲間ときずなづくり
 - 【目標 3】 スポーツで夢と希望あふれる活力ある都市づくり
 - 【目標 4】 スポーツ活動のための場づくり
 - 【目標 5】 スポーツ活動のための担い手づくり

- (2) 計画期間 平成 22 年度～平成 31 年度 <10 年間>

2. 計画に定めた目標と令和元年度の主な関連事業

【目標 1】 スポーツでこころとからだの健康づくり

(1) 福岡マラソンの開催【市民局】

市民スポーツの振興及び地域の活性化を図るため、福岡マラソン 2019 を開催。

【開催日時】 11 月 10 日（日） 8:10 車いす競技スタート

8:20 マラソン／ファンランスタート

【種目】

・マラソン（42.195km） ・車いす競技（5.2km） ・ファンラン（5.2km）

【完走者数／出走者数（完走率）】

・マラソン 11,349 人／11,773 人（96.4%）

・車いす 6 人／13 人（46.2%）

・ファンラン 2,082 人

【次回大会（福岡マラソン 2020）開催日】

令和 2 年 11 月 8 日（日）



(2) 「健康づくりフェスタふくおか」の開催【保健福祉局】

市民が自分に合った健康づくりを見つけ、ウォーキング等誰でも気軽に参加できる多彩なイベントを2日間にわたり実施。

【開催日】10月19日（土）～20日（日）

【開催場所】福岡タワー周辺

【来場者数】約32,000人（2日間計）



サザエさん通りうきうきウォークの様子

(3) サブウェイ・ダイエット【交通局】

「駅まで歩く、駅から歩く。」をスローガンに、地下鉄利用による環境への貢献や駅まで歩くことによる健康づくりなどのライフスタイルを提案し、地下鉄の利用促進を図るプロモーション活動を実施。

- 地下鉄駅を起点とした沿線ウォーキングイベントを開催
- （公財）九州交響楽団と連携したウォーキング BGM の WEB 配信等を実施



【目標2】スポーツで仲間ときずなづくり

(1) 「市民総合スポーツ大会」の開催【市民局】

市民スポーツへの関心と参加意識を高め、市民スポーツの普及・振興を促進するとともに、市民の健康増進と体力の向上を図り、活力に満ちた明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として開催する。

○ 各種競技大会

【開催日】平成31年4月～令和2年3月

【種目数等】106種目（夏季大会 25種目，秋季大会 59種目，冬季大会 22種目）
15教室

【参加者数】約68,000人

○ 総合開会式

【開催日】10月14日（月・祝）

【開催場所】平和台陸上競技場

【内容】式典および「市民スポーツフェスタ2019」の同時開催

【参加者数】32,000人（「市民スポーツフェスタ2019」含む）



(2) 福岡市スポーツ少年団事業【市民局】

子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供し、スポーツを通じた青少年の健全育成を図る。

【団体数】53団体

【登録者数】指導者190名，団員867名

※12月末現在

○ 本部事業

・スポーツ交流大会（運動会）

○ 少年スポーツ交流大会

軟式野球，ソフトボール，バレーボール，
アイスホッケー，剣道，バスケットボール



スポーツ交流大会

(3) スポーツビューフェ・プロジェクト【市民局】

子どもたちがスポーツと出会い、スポーツを始めるきっかけとなる機会を提供し、スポーツに親しむ子どもたちを増やしていく。

○ スポーツビューフェ in 青葉（東区）

【開催日】11月2日（土） 【開催場所】福岡市立青葉小学校

【競技種目】サッカー、ソフトボール、テコンドー



○ スポーツビューフェ in 博多体育館（博多区）

【開催日】2月8日（土） 【開催場所】福岡市立博多体育館

【競技種目】サッカー、ソフトボール、ミニバスケットボール、バレーボール



(4) 児童生徒の体力向上の推進【教育委員会】

児童生徒の体力実態・体力課題の把握と体力の向上を図る。

○ 体力向上のための指導者研修会

【開催日】9月12日（木）

【開催場所】早良市民センター

【対象】各小・中学校教員

【内容】講演：鹿児島大学 与儀 幸朝 講師

「体力向上に向けての今後の具体的取組について」

○ スポーツ指導員派遣

ダンス等の実技指導を行うスポーツ指導員を、希望する中学校 20 校に派遣

○ 小学校体育科学習実技指導員派遣

「陸上」「水泳」「器械運動」「ボール運動」領域で、希望する小学校 40 校に派遣

【目標3】スポーツで夢と希望あふれる活力ある都市づくり

(1) スポーツコミッション事業【市民局】

国際スポーツ大会や全国レベルの大会の開催地、合宿地としての招致・支援。

- 世界フィギュアスケート国別対抗戦 2019

【期 間】 4月11日（木）から4月14日（日）

【場 所】 マリンメッセ福岡

【参加国】 6か国

- 第103回日本陸上競技選手権大会（2019年）の開催

【期 間】 6月27日（木）から6月30日（日）

【会 場】 博多の森陸上競技場

【観客数】 4日間合計 38,300人

【参加選手】 男子17種目 411人，女子17種目 399人 ほか



- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（2020年）の事前合宿準備等

【対象国】 スウェーデン・ノルウェー

【主な取組】 ナショナルチームの合宿受入・支援

(2) 国際スポーツ大会の開催【市民局】

福岡市で開催される国際スポーツ大会の開催準備・気運醸成を行う。

- ラグビーワールドカップ（2019年）福岡会場の開催

【大会名称】 ラグビーワールドカップ 2019 日本大会

【期 間】 9月20日（金）～11月2日（土）

【会 場】 全国12会場（福岡市は東平尾公園博多の森球技場）

【参加国】 20か国・地域

【試合数】 48試合（予選プール40試合，決勝トーナメント8試合）

【福岡会場での試合日程】



日 程	試 合	来場者数
9月26日（木）16：45	イタリア 対 カナダ（プールB）	16,984人
10月2日（水）16：45	フランス 対 アメリカ（プールC）	17,660人
10月12日（土）19：45	アイルランド 対 サモア（プールA）	17,967人

【取 組】 交通輸送計画の実施，ファンゾーンの運営，大会気運醸成事業（イベント開催，都市装飾等）



○ 世界水泳選手権（2021年）の開催準備等

- ・第19回FINA世界水泳選手権2021福岡大会

【期間】令和3年7月16日（金）～8月1日（日）

【会場】

■ウォーターフロントエリア

マリンメッセ福岡A館：競泳，アーティスティックスイミング

マリンメッセ福岡B館：水球

福岡国際センター：飛込

■シーサイドももちエリア

オープンウォータースイミング，ハイダイビング

【参加者数】約190か国・地域，約2,400人（想定）



Fina
WORLD
CHAMPIONSHIPS

- ・第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2021九州大会

【期間】令和3年8月3日（火）～8月12日（木）

【会場】

■福岡市

マリンメッセ福岡A館，総合西市民プール：競泳

福岡国際センター：飛込

シーサイドももちエリア：オープンウォータースイミング

■熊本市

熊本市総合屋内プール：水球

■鹿児島市

鹿児島市鳴池公園水泳プール：アーティスティックスイミング

【参加者数】約100か国・地域，約10,000人（想定）

【取組】大会基本計画の策定，マスコット及びエンブレムの制作・発表等の大会PR事業，東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携等



Fina
WORLD MASTERS
CHAMPIONSHIPS

(3) アビスパ福岡支援【市民局】

サッカー教室や市民応援デー等を通じて，市民スポーツの振興を図るとともに，市民球団「アビスパ福岡」を支援。

○ アビスパ福岡サッカー教室等

【実施回数】78回

【参加人数】3,395人

○ 市民応援デー及び区民ふれあいデー（親子観戦招待）

【招待人数】5,487人

※12月末現在

(4) 大相撲九州場所支援事業【市民局】

広報PR，こども観戦招待等を通じて大相撲九州場所を支援。

- 広報・PR事業
 - ・市内ビジョンによる広報（市役所1階ロビー，ソラリアビジョン）
 - ・街路灯バナーによる広報（大博通り，住吉通り）
- 観戦招待事業（相撲協会の協力による取組み）
 - ・市内小・中・特別支援学校の児童生徒を招待
 - 【学校数】21校
 - 【参加人数】253人（引率含む）
 - ・こども観戦招待事業として，市内在住の幼児から中学生を招待
 - 【観戦日】九州場所2日目から6日目
 - 【招待席数】椅子席を計580席

(5) スタージャンプ福岡【市民局】

トップスポーツチームと連携し，子どもたちに種目を越えたスポーツの素晴らしさや体を動かす楽しさを伝える。

- こどもスポーツフェスタ
 - 【日時】6月22日（土）
 - 【場所】福岡市民体育館
 - 【参加人数】153人
- 親子スポーツフェスタ
 - 【日時】10月6日（日）
 - 【場所】雁の巣レクリエーションセンター
 - 【参加者数】153人



こどもスポーツフェスタ

【目標4】スポーツ活動のための場づくり

(1) 市立体育館・プールの管理運営【市民局】

体育館やプールなど、市民が気軽に利用できるスポーツ施設の管理運営を行うとともに、施設の計画的な改修を行い、安全・安心で、誰もが使いやすい施設を目指していく。

- 総合体育館の管理運営（平成30年12月1日開館から一年間の運営実績）

【延べ利用人数】203,663人

【大規模大会数】165回

金鷲旗・玉竜旗，Bリーグ公式戦，Vリーグファイナル8 ほか

- 大規模改修工事

・ももち体育館 7月着手，8月から休館，令和2年4月再開館予定

・総合西市民プール 12月着手，令和2年4月から休館，令和3年6月再開館予定

(2) 学校施設の地域開放【教育委員会】

学校教育に支障のない範囲で、地域住民のスポーツ活動や社会教育の場として学校施設（体育館，運動場等）を開放する。

(3) 歩きたくなるまちづくり【保健福祉局，道路下水道局，区役所】

ウォーキング大会の実施，ウォーキングに関する情報提供。

【目標5】スポーツ活動のための担い手づくり

(1) スポーツ推進委員の育成・活用【市民局】

スポーツ推進委員の資質向上に努めるとともに、地域での積極的な活用を図る。

(2) スポーツリーダー・バンク事業【市民局】

市民（サークル等の団体）からの派遣要請に対して、スポーツリーダー・バンクに登録された各種スポーツ・レクリエーションの指導者を、積極的に派遣・紹介するとともに、市民ニーズにあった指導者の確保と資質の向上に努めるため、指導者に対する研修を実施する。

【派遣回数】25回

【指導人数】343名

※12月末現在